

通年加入者120名超える!

大会現勢上回り組織純増に 更なる峰を目指して!



NO. 249
2015. 5. 27

発行 国土交通省管理職ユニオン
所在地 東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138
Eメール k-union@alpha.ocn.ne.jp
ホームページ http://www7.ocn.ne.jp/~k-union

第18回定期 全国大会開催

国土交通省管理職ユニオンは5月23日〜24日の両日、豊橋市「ホテルシーパレスリゾート」において、第18回定期全国大会を開催しました。大会には全国から代議員をはじめ役員、来賓等延べ128名が参加しました。

職場にユニオンへの期待の声

本大会では、職場からのユニオン運動が積み上げられ、切実な要求が前進してくる一方で、本省・本局からの管理職登用が増え、加えてユニオン組合員の官ポストへの登用が大幅に増えるなど組織増勢に否定的人事発令がされる中で、ユニオン創生期を除けば、過去最高の年間拡大数126名の加入者を迎え、4年ぶりに大会現勢を回復し組織が増勢に転じたことが報告されました。

大会では、議論は、定員削減による不十分な業務執行体制の中で、コンプライアンス無視の状況や、パワハラが数多く発生し、肉体的にも精神的にも追い詰められ、健康や精神を害する職員が増えるなど職場環境も悪化しており「職場環境の改善と働くルールの確立を目指して」を今こそ実践すること、「増員」を勝ち取って行くことが確認されました。



第9回を数えた「管理職員アンケート」では約200名から集約を行い、管

理職ユニオンに寄せられた「声」を背景として運動していく重要性が確認されました。

活動の総括では「給与制度の総合的見直し」においては55歳超の職員の賃下げ幅を最大3.95%まで留めさせ、経過措置期間を設けさせた。さらにユニオン結成以来の要求であった

「超過勤務手当の支給」の要求が「管理職深夜勤務手当」として実現したことは「粘り強く闘えば要求が前進する」ことが確認されました。再任用関係では、来年の定年退職から2年間無年金状態となることから「フルタイム希望者全員の採用」を早期に確定するた



めの闘いを強化することも確認されました。

今後一年間、重点的に取り組む要求と運動として、「業務執行体制改善」「職場環境改善」「60歳以降の働き方確立とフルタイム勤務実現」「憲法と平和、民主主義を守る課題」などに取組む、その最大の保障である組織をもっと大きく強くすることが満場一致で確認されました。

そして、その運動の先頭に立つ新役員に、神野新委員長を始め左表の方々を選出しました。

神野新委員長 塩治事務局長(再)選出

2015年度中央執行委員

役職	氏名	支部	事務所
委員長	神野 隆司	九州	川内川河川
副委員長	山本 敏一	北陸	飯豊山系砂防
副委員長	星野 豊	関東	東京国道
副委員長	山本 健二	近畿	京都国道
副委員長	上原 秀樹	近畿	大阪国道
副委員長	中島 最郎	地理	関東地方測量部
事務局長	塩治 康人	中部	庄内川河川
事務局次長	中山 幸男	関東	本部専従
事務局次長	鷹野 弘行	中部	浜松河川国道
事務局次長	原 昭二	近畿	淀川河川
執行委員	加藤 桂一	東北	酒田河川国道
執行委員	羽深 圭一	北陸	羽越河川国道
執行委員	安藤 勇	関東	大宮国道
執行委員	川地 幸弘	中部	木曾川上流
執行委員	西村 政司	近畿	六甲砂防
執行委員	大櫃 剛	中国	岡山河川
執行委員	阿部 勝義	四国	高知河川国道
執行委員	山下 正昭	九州	九州技術
執行委員	上村 和彦	地理	測量部
会計監査	神保 悟	関東	利根川ダム
会計監査	米山 浩三	中部	沼津河川国道
専従事務局員	西村 正美	近畿	淀川河川
非専従事務局員	山守 隆	関東	渡良瀬川河川
非専従事務局員	上林 喜美夫	関東	京浜河川

中央メーデーの様子



安倍「暴走」政治ストップ・戦争する国づくり許さないぞ！！ 第86回メーデーに元気よく参加（北陸支部）

昨年とは大違いの五月晴れに恵まれ、今年もメーデー集会が各地で行われました。

多くのアジアをはじめ世界の人々を犠牲にした太平洋戦争を侵略戦争と認めず、歴史を顧みず世界の常識からも外れた安倍政権の暴走は、見せかけの高支持を背景に勝手な憲法解釈で集団的自衛権の行使・辺野古基地の建設等をはじめ、平和以外の面でも労働法制の改悪や社会保障の切り捨て、消費税増税など国民の声を無視して数々の悪政を押し進めています。

このような中、『安倍暴走政治・戦争する国づくり反対。8時間労働を守れ、労働法制改悪反対、大幅賃上げ。社会保障制度の拡充、消費税増税反対、TPP交渉撤退。東日本大震災の早期復興、原発ゼロ。「教育再生」反対、辺野古新基地建設反対、オスプレイ配備・訓練反対、核兵器の全面禁止』等をスローガンにメーデー集会が実施されました。

ユニオンは新潟中央集会に5名、富山集会に5名（各地OB含む）が参加し、集会後のパレードでも市民にシュプレヒコールで訴えました。



安倍政権の「暴走」政治を今すぐやめさせ、「戦争する国づくり」「労働法制の全面改悪」「原発再稼働」をストップさせようとして5月1日、第86回メーデーが全国311カ所で開催され、17万人が参加しました。

ユニオン本部は関東支部と一緒に夏を思わせる日差しが照りつけた東京・代々木公園で開催された中央メーデーに参加しました。中央メーデーには2万8000人が参加して、都内3コースをデモ行進し、「9条こわす安倍政権ノックアウト」「残業代を出せ！」などと書かれたプラカードやデコレーションでアピールしました。

ストップ！「戦争する国づくり」 第86回メーデー

中国支部

快晴の5月1日、中国支部は、広島生公連・国交労組・全建労退職者の会の仲間とともに第86回広島県中央メーデーに結集しました。

集会では、冒頭、昨年8月の広島豪雨災害の犠牲者を悼み黙とうをささげ、安倍政権の暴走政治ストップや貧困と格差の解消等を確認し、集会後のデモ行進で市民に訴えました。

また、第86回岡山県中央メーデーにも、国交労組・全建労退職者の会の仲間とともに結集しました。



国土交通労組と元気にデモ行進（地理支部）

ユニオン地理支部は、OBを含む7名がつくば市内で開催されたメーデーに参加しました。集会では、各団体の代表から安倍内閣の戦争立法を許さないことや、研究機関における「研究の軍事利用反対」の運動をより強化することなどの報告がされました。集会後は元気に市内をデモ行進しました。

デモのあとは恒例のメーデー会場での国交労組の地理支部と建設研究機関支部との昼食交流会に参加しました。交流会ではそれぞれの要求実現に奮闘することを誓いました。



四国支部

メーデー当日は、徳島は晴天に恵まれ、すがすがしい空気の中集会とデモ行進を行いました。

会場には、ユニオン組合員は1人でしたが、徳島県国公から港湾3名、労働1名、建労1名運輸1名が参加していました。

集会での報告等は、やはり安倍内閣の戦争をする国作りへの反対と憲法9条を守る戦いへの結集を訴えるものでした。

また、徳島市内のデモ行進では、NHK前での「NHKの権力への追従批判」と四国電力前での伊方原発停止へのシュプレヒコール等行いました。



近畿支部

汗ばむような陽気、雲ひとつない青空の下で、近畿各地域で第86回メーデーが開催され、ユニオンの組合員・OBも行進後の泡でのうがいを楽しみに集会、デモ行進に参加してきました。

姫路では改装されて真っ白な姫路城を背に行われ、奈良はいつもの奈良公園で鹿と一緒にメーデー参加、足下には気をつけないと那智黒が！大阪も扇町公園でユニオンの旗の下に集合。神戸は人数多いがOBばかりで現職2名、今年も生きとったかといつもの安否確認。奈良や大阪では職場の若い人の姿がほとんどなく、このままではユニオンとOBさん

